

個別目標 2-1 | 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-4

安全で安心して暮らせるまちをつくります



【10年後のめざす姿】

- 高齢者や子ども、障がい者、外国人などを含めたすべての人が、安全で安心して暮らせる都市まちになっています。

【10年後のめざす姿にどれだけ近づいたかを測るモノサシ(指標)と目標値】



モノサシ(指標)	現 状	25年度	30年度
自転車駐車場収容台数(台)	24,787台	28,700台	34,300台
駅周辺のバリアフリー*化が進んだと感じる区民の割合(%)	47%	55%	65%

【現状と課題】

区内に暮らしているすべての人々が、安全で安心して生活ができるまちを実現するためには、様々な課題を解決していかなければなりません。大田区でも都市構造が複雑化、過密化していく中で、高齢者や障がい者の活動が様々なバリアに妨げられている状況があります。どこでも誰もが快適に移動や活動ができるバリアのないまちを実現するために、国際化による外国人の増加への対応なども含め、ユニバーサルデザイン\*の視点でこれらの課題に取り組む必要があります。

近年、頻発する大規模地震の影響で、区民の防災に対する意識も高まりつつあります。区内の建築物の大半は木造であり、特に密集市街地などは不燃化対策や耐震性を向上させることが重要な課題となっています。また、道路・橋梁\*などの基盤施設は、災害時の避難路、緊急輸送路としての機能を確保することが必要です。

身近で起きる自然災害としては、集中豪雨による浸水被害の発生が挙げられます。著しく都市化が進んでいる首都圏では、地表が道路や建物によって覆われ、雨水の浸透が妨げられることもひとつの要因となっており、総合的な治水対策が必要です。

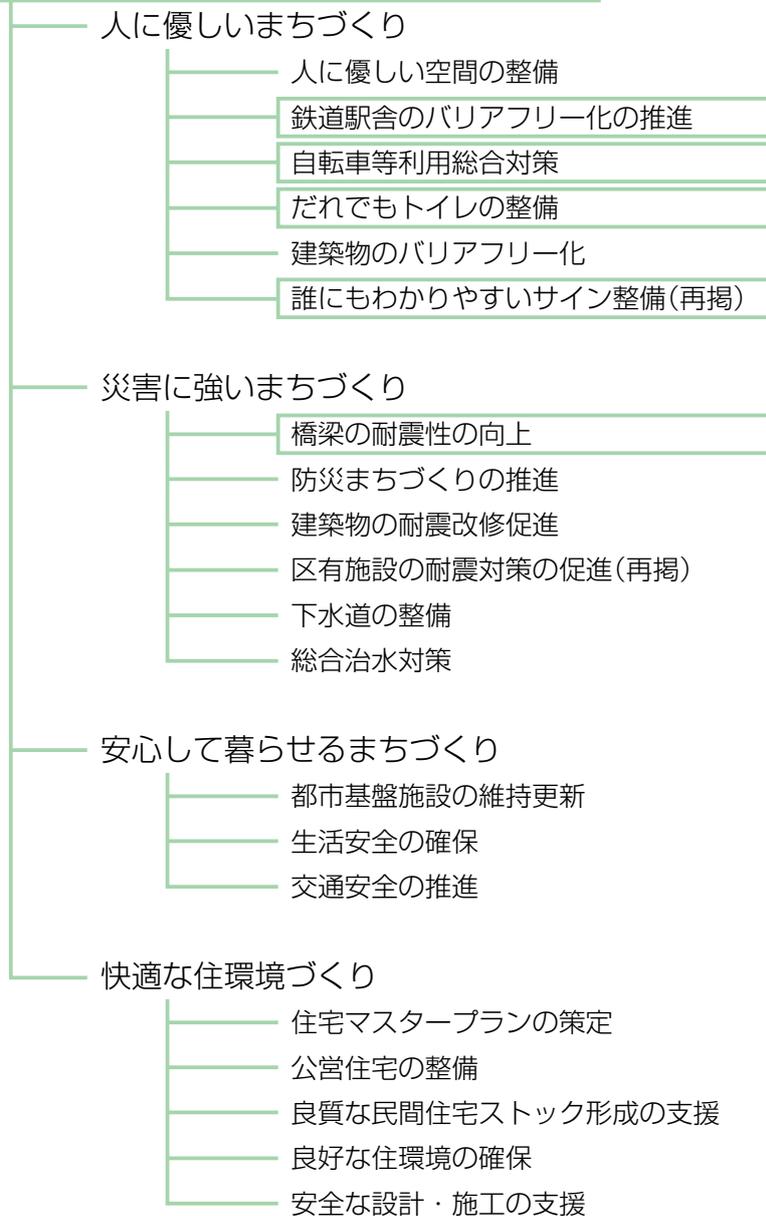
日常の中で発生する交通事故や犯罪も区民の生活を脅かす大きな問題です。交通事故に関しては、近年、高齢者・自転車の事故件数が増加しており、こうした点に留意しながら交通安全対策を図る必要があります。また、地域住民と連携を取りながら犯罪を抑制していくことが重要です。

都市の過密化が急速に進み、宅地の細分化による居住空間の縮小や緑地の消失などが、住環境に大きく影響してきました。密集市街地や老朽化した木造住宅が集まる地域の快適な住環境の確保や、質の高い既存住宅の長寿化と有効活用を図ることが望まれます。

【施策の体系】

枠で囲んである事業は、その主な取り組み内容を次ページ以降で紹介しています。

安全で安心して暮らせるまちをつくります



橋梁の耐震補強で災害に強いまちに



危険な放置自転車

## 【 施策の方向性と主な事業 】

### ①人に優しいまちづくり

誰もが快適に暮らせるまちをめざし、区内の公共施設などのユニバーサルデザイン\*化を推進します。また、自転車利用におけるマナー向上に努め、安全で安心なまちづくりに向けた取り組みを推進します。

<b>計画事業名</b>	<b>鉄道駅舎のバリアフリー *化の推進</b>						
<b>主な取組内容</b>	区内鉄道駅舎のバリアフリー化のためエレベーターが必要な駅舎への設置支援を推進します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
エレベーター設置支援							

<b>計画事業名</b>	<b>自転車等利用総合対策</b>						
<b>主な取組内容</b>	地球環境にやさしい自転車の利用などについて、区民や鉄道事業者など関係機関と連携・強化を図り、駅周辺の放置自転車や利用者に対する交通ルールの遵守、交通マナーの向上などの対策を協議し、安全で安心なまちづくりを推進します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
自転車等利用総合基本計画	協議会開催、検討						
	検討、策定						
事業推進スケジュール検討・調整							継続

<b>計画事業名</b>	<b>だれでもトイレの整備</b>						
<b>主な取組内容</b>	道路や公園などにある公共トイレ(公衆便所や公園便所の一部)の改築や新設にあわせて、誰もが使いやすい「だれでもトイレ」の整備を進めます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
だれでもトイレの整備	改築						継続
	新設			18箇所完了			継続

<b>計画事業名</b>	<b>誰にもわかりやすいサイン整備(再掲)</b> ➡詳細は、P68を参照してください。						
--------------	---	--	--	--	--	--	--

## ②災害に強いまちづくり

地震や火災に強いまちをめざし、密集市街地などにおける不燃化や耐震化を進めます。また、道路に延焼遮断帯\*やオープンスペースを整備し、避難路・緊急輸送路としての機能を確保するとともに、建築物や橋梁\*などの施設の耐震性を向上させ、広域的な防災体制の整備を進めます。

計画事業名	橋梁の耐震性の向上						
主な取組内容	区が管理する橋梁の中で、緊急道路障害物除去路線*や鉄道を跨ぐ橋梁など防災上重要な橋梁は、計画的に架替・耐震補強整備を進め、災害に強いまちづくりを推進します(優先対策橋梁53橋)。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
架替・耐震補強整備		優先対策橋梁のうち31橋完了					検証

## ③安心して暮らせるまちづくり

地域の安心を確保するため、河川や下水の整備、雨水貯留施設や浸透施設\*の整備などの総合的な治水対策を行います。また、犯罪に巻き込まれないよう、地域住民と連携しながら危険箇所の洗い出しや夜間パトロールなどの防犯対策を図るとともに、歩車分離や放置自転車抑制などによる交通安全対策を進めます。

## ④快適な住環境づくり

豊かで快適な生活環境の確保に向けて、今後の方向性を示した住宅マスタープランの策定を行うとともに、密集市街地等の共同化整備など建物の高度利用を進めます。また、質の高い住宅は、維持修繕による長寿化と有効活用を促進するなど、住宅や住環境の整備を図ります。